

ぺたぴか

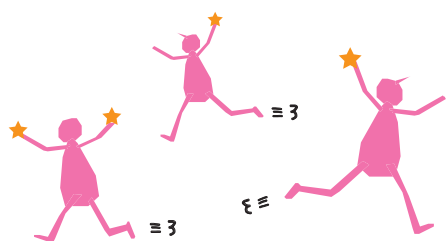


CONCEPT

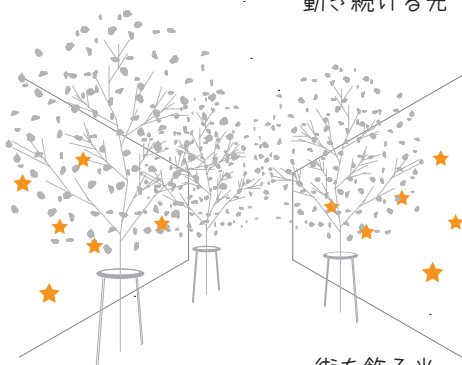
マチに自分のモノをくっつける。商店街のまんなかで身のまわりのモノと光で作品をつくる。作品には磁石をつけて、思い思いに街にくっつけていく。自分たちの手で、街を光でアレンジしていく。いつも校庭や公園で遊ぶように商店街で遊ぶことで、子どもたちが街に愛着を持つキッカケが生まれる。商店街を中心とした大人と子どもをくっつけ、街全体で活性する場を創造する。

DIAGRAM

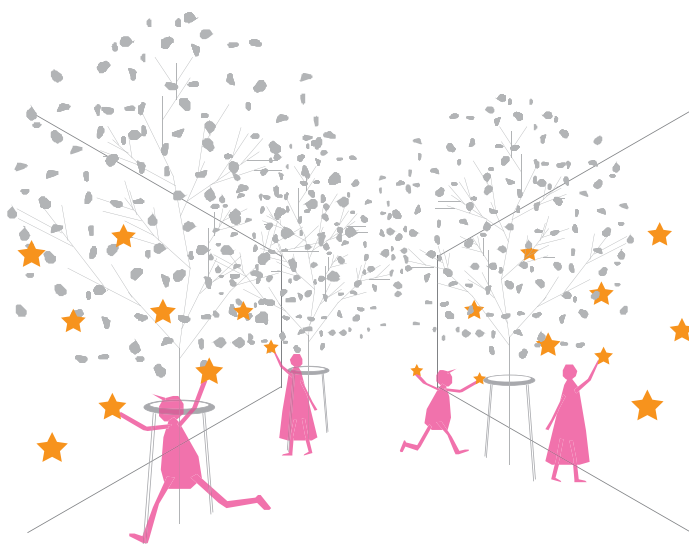
光をつくるワークショップ。街を輝かせるイルミネーション。その二つを融合させ、つながるイルミネーションとなる。



動き続ける光



街を飾る光



生まれた光が街に住む

MATERIAL

7色点灯LED、磁石、身近な素材（カプセル、紙コップ、ストロー、スーパーボール、凾系、わごむ、サテン、クリップ、おはながみ、折り紙、アイスカップ、紙袋、ほおずき、りぼん、スポンジ、洗濯バサミ、ペットボトル、ビーズ、キッチンペーパー、スズランテープ、コースター、モール）

■ワークショップ概要

担当：光の아트班（村川、瀬戸、鈴木、長谷川、宮島）

小林研究室では、「光の普及活動」をテーマに調査、研究、実施を行っています。イルミネーションやアートなど光の効果を使ったものはとても多く、そのほとんどが照明の知識を持った限られた人たちの作品ばかりです。しかし、光は誰にでも簡単に作る事ができ、さらに私たちは日常の生活、行為に光の아트性を取り入れることで、生活の質を向上させたり、豊かさが増すと考えています。普段、生活を行う街と光をつなぐことで、光に愛着が生まれたり、普及すると思ひ尾山台商店街商栄会の協力のもと、尾山台盆踊り大会でワークショップを行いました。



開催日：7/22(金)・23(土)
時間：第1回 16:00～ 第2回 17:00～
第3回 18:00～ 第4回 19:00～ 各回50人限定
supported by 東京都市大学工学部
建築学科小林研究室



あかりの手作りワークショップ。
「磁石」+「LED」+「じぶんのもの」を使って光をつくり、
ハッピーロードにその光を放して下さい。
自分でつくり、皆でつくる夏祭り。

※当日まで商店街に貼っていたポスターです！

■日時 2011年7月22日(金)～23日(土)

■場所 尾山台商店街盆踊り会場

■活動内容 手作りワークショップ

■スケジュール

1日目：7月22日(金)

16:00～ ワークショップスタート

19:30頃～ 街灯消灯(約30分)

20:00頃 ワークショップ終了

2日目：7月23日(土)

17:00～ ワークショップスタート

19:30頃～ 街灯消灯(約30分)

20:00頃 ワークショップ終了

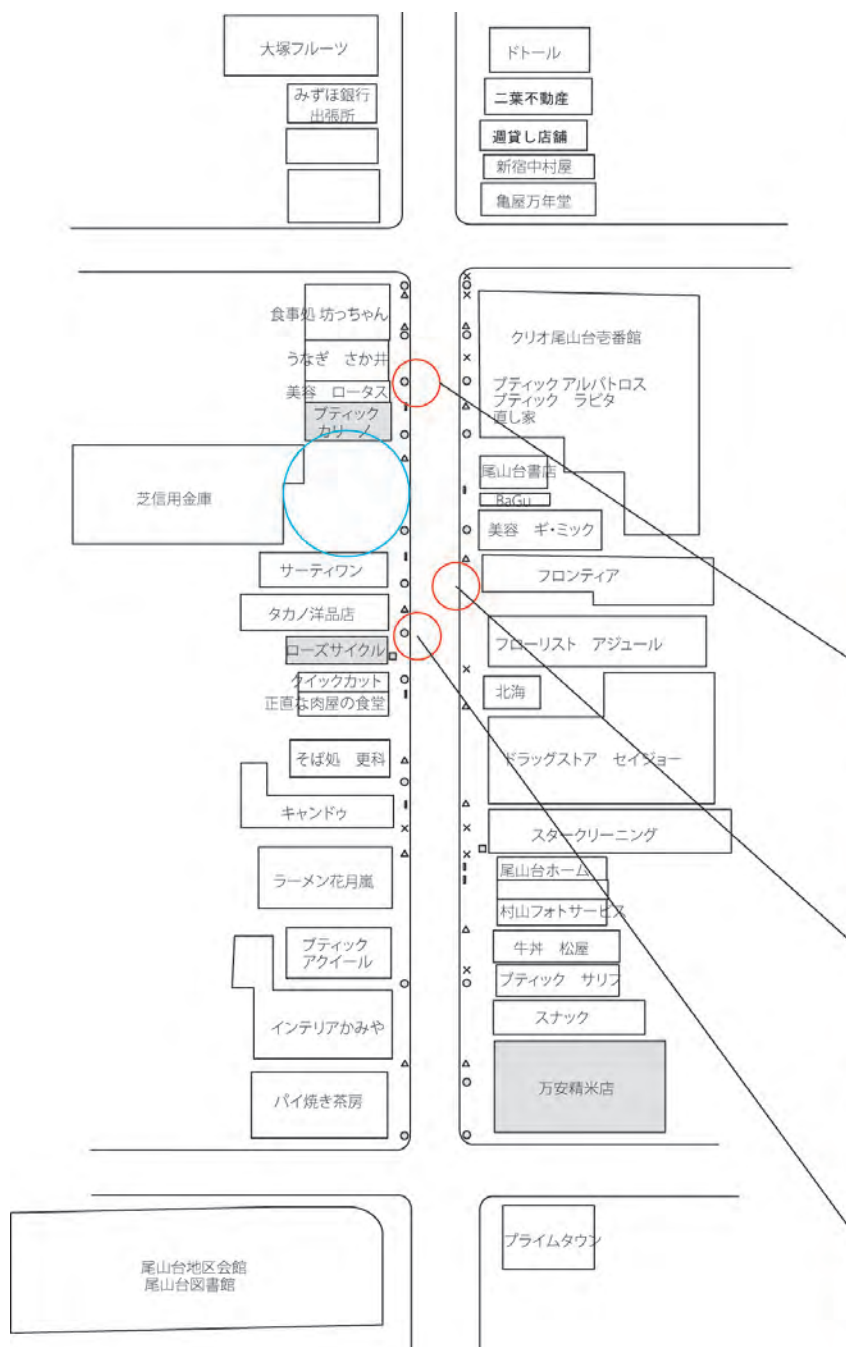
■参加者

主催者 23名(教員1名+学生22名)

一般参加者 両日で500名(用意したLED個数分)

敷地現状 東京都世田谷区尾山台 商店街「ハッピーロード」駅周辺

寸法：歩道 2700mm 樹木間隔 8300mm
車道 5500mm



街にあるくつつくもの

- 木の支え
- △ 街灯
- × 標識・ポスト
- ▮ 車止め
- 自販機
- シャッター
- ワークショップ会場
- 盆踊り会場



日中～夕方 (16～19時半頃)



街灯消灯 (19時半～20時頃)



街灯再点灯 (20時以降)

■作品集

いろんな作品が街にあふれました。数少ない種類の素材にも関わらず、バリエーションに富んだ様々な作品が子どもたちの手で生み出されました。ここでは、その中の一部を紹介します。できた作品に勝手ではありますが、私たちが分類分けをし、名前をつけてみました。



ラブうさぎ



メロン君とミカンちゃん



ピエロ



美男子



安全第一



ニコちゃん



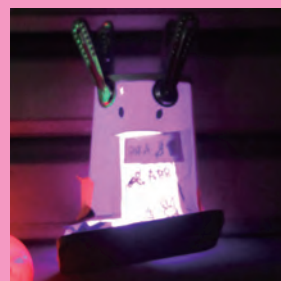
猫



袋おばけ



頭でっかち



ロボうさぎ



キモいか



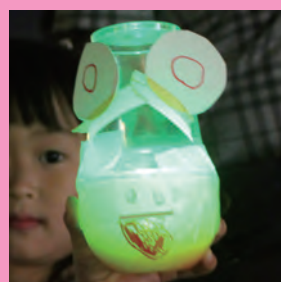
タイ崎



シロ



カップちゃん



カエル



かおなし



イカ



みやじうさぎ



ほうずきん



たこ



たからもの



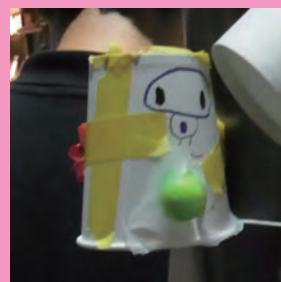
おばけ



うさぎ



おやすみ



たぬき

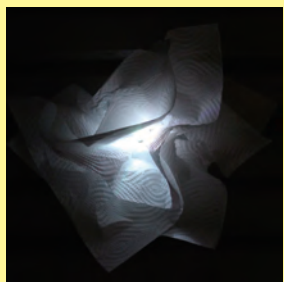


うっひゃっひゃ

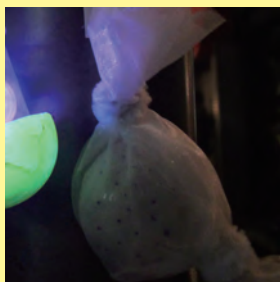


おさかな

写真を撮りたくなっちゃうような可愛いあかりがいっぱい！



花



キャンディー



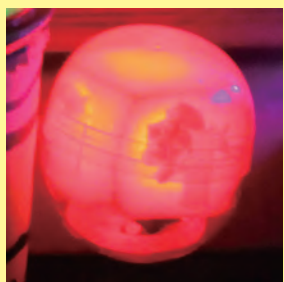
メロン



プレゼント



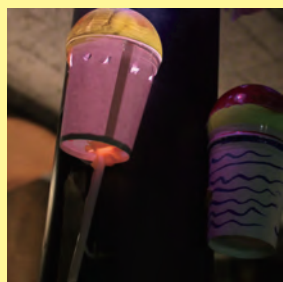
砂時計



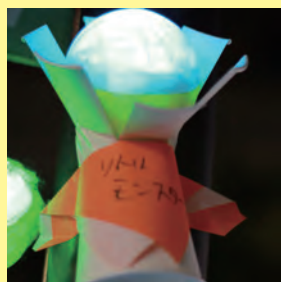
りんご



マラカス



ランプ



リトルモンスター



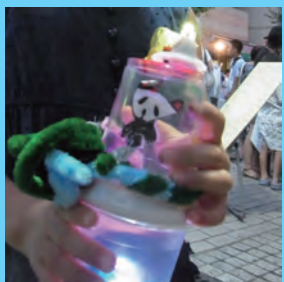
船



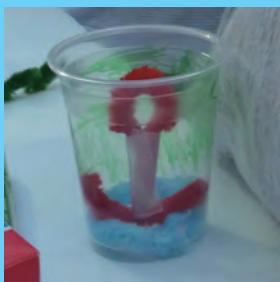
飲み物



マイク



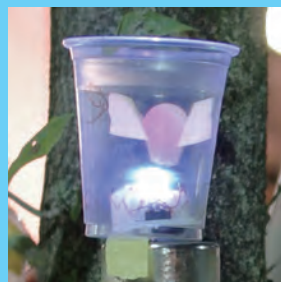
パンダのお家



碗



捕まった…



クリオネの水槽



カオ系



モノ系



トジコメル系

■昼は素材！

両日とも机の準備をしている段階から親子、友人同士で集まる大盛況で準備していた素材もなくなるほどでした。夕方の明るい時間帯では素材に興味がある子どもが多く、いくつかの素材を組み合わせたり、絵を描くことにこだわりをみせる後傾が多かったです。工作感覚でモノづくりを楽しんでいたが、その作品を街にくっつけるという行為に普段慣れないことをするので、恥ずかしがるような素振りも見られました。



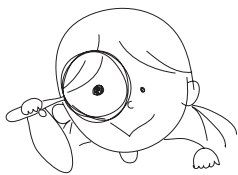
■夜はアカリに…。

夜になると素材だけではなく、光中心にモノをつくる光景が多くなった。1つのカプセルや紙コップにいくつかのLEDを入れる様子や作ったモノを振り回す行動が観察できました。暗さとLEDの光が子どもたちの好奇心を掻き立て、気持ちの高ぶる空間になっていたといえます。また、子どもだけでなく、夜になると大人がワークショップに参加していく姿も見られました。これは子どもが中心のワークショップがLEDの光によって、大人までも惹きつけるアートになったといえます。



■世代、性別をコミュニケーションを生むきっかけに

光をつけた場所として街灯、看板、車止めが多く観察された。日中は1つ、2つだった光が日没後にはいくつもの光で照らされ、その光に吸い寄せられて他の参加者もつけていく姿が見られた。また、1人だけではなく親子、友人で協力し合い、周りより高いところにつけたり、足元についた光を撮影する行為なども生まれた。



皆思い思いの場所を見つけて自分のあかりをくっつけていたね。



■次第にひろがり、変化していく作品

少し変わった場所として、自転車やシャッター、自動販売機がありました。個人のもののなので、光をつけづらいモノですが、一人がシャッターや自転車にくっつけている姿を見ると、他の人もつけていく傾向が見られました。



つくるモノも時間と日にちにつれて変化していき、街に「くっつける」というだけでなく、屋台のアカリとして子どもがかき氷のカップでランプを作ったり、大人が枝豆とLEDを組み合わせるなど、面白い作品も多く生まれました。



■商店街に光が根付く

イベントも終わり、帰っていく人たちは自分で作った作品をアクセサリとして身に付けていたり、持って帰ったり、イルミネーション、アートとして出来上がった作品を眺めながら帰る姿が観察されました。

